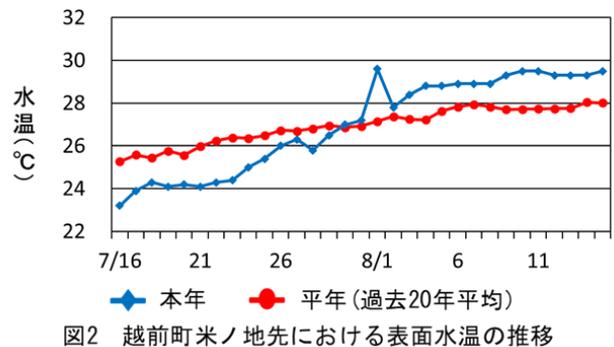
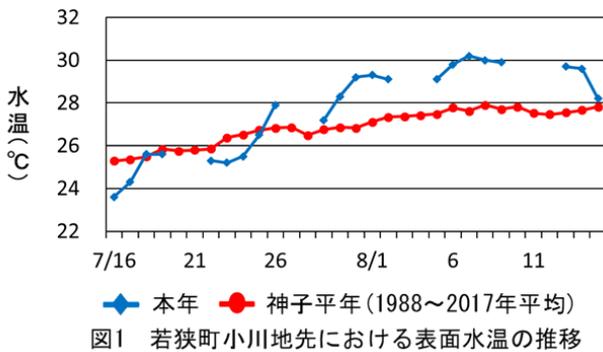




〔海の状況 (7/16~8/15) 〕

- ・小川地先の表面水温… 期間の前半は神子平年よりはなはだ低め (平年差-1.5℃~) から平年並み (平年差±0.5℃) で推移し、後半は神子平年 (平年差±0.5℃) からはなはだ高め (平年差1.5℃~) で推移した。(図1)
※神子平年は、1988年~2017年の神子地先の平均値
- ・米ノ地先の表面水温… 期間前半は平年よりはなはだ低め (平年差-1.5℃~) から平年並み (平年差±0.5℃) で推移し、後半は平年 (平年差±0.5℃) からはなはだ高め (平年差1.5℃~) で推移した。(図2)



〔若狭湾および周辺海域の海況：7月〕

7月の若狭湾およびその周辺海域の水温分布は、表層(0m)では、福井県嶺北沿岸で20℃~22℃と前年より水温が高くなっていた。水深50mおよび水深100mでは、福井県沿岸で14℃~18℃と前年同様であった。水深200mでは、4℃以下の範囲が前年より小さくなっていた。(図3)

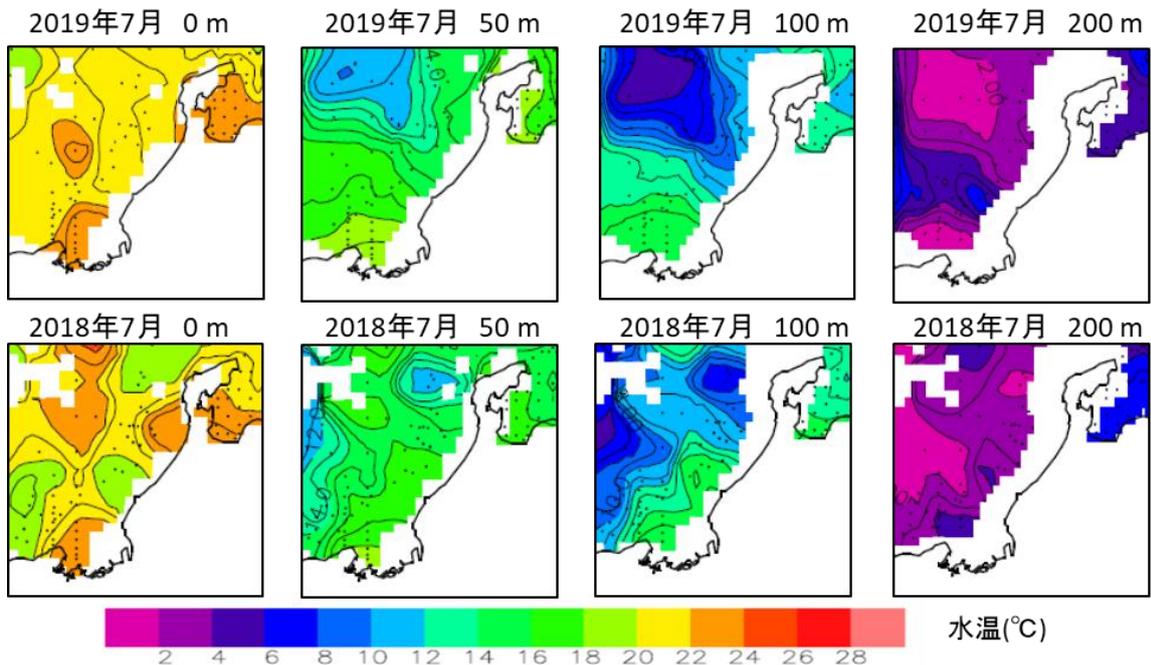


図3 若狭湾およびその周辺海域の水温分布図 (日本海区水産研究所の日本海漁場海況速報より抜粋)

大型クラゲ情報 (8/29 時点)

日本海における大型クラゲに関する情報をお知らせします。

・福井県内の情報

大型クラゲが右表のとおり定置網に入網しました。

・日本海全域の情報

対馬海峡から日本海西部の広い範囲での出現が確認されています。

◎県内におけるこれまでの入網数は少量ですが、出現が続く可能性もありますのでご注意ください。

(漁場環境グループ 岩崎 俊祐)

入網日	入網場所	個体数	大きさ (傘径)
8月19日	南越前町 (定置)	1	50~60cm
8月19日	若狭町 (定置)	1	50cm
8月20日	高浜町 (定置)	3	50~60cm
8月21日	福井市 (定置)	1	80cm
8月21日	おおい町 (定置)	2	30~60cm
8月23日	おおい町 (定置)	1	40cm
8月25日	越前町 (定置)	3	-
8月27日	高浜町 (定置)	3	60~80cm

〔県内の漁模様：7月〕

2019年7月の県内の総漁獲量は879 tで、昨年同月を102 t上回った。

〔定置網〕

漁獲量は572 tで、昨年同月並みであった。ブリ銘柄 (ブリ・ツバス・ワラサ)、サバ類、トビウオ等は下回ったが、シイラ、サワラ、ケンサキイカ等は上回った。

〔底びき網〕

漁獲量は21 tで、昨年同月を4 t下回った。主な漁獲物はアカエビであった。

〔釣り・その他〕

漁獲量は286 tで、昨年同月と比べて111 t 上回った。マダイ等は下回ったが、スルメイカは大きく上回った。

表. 主要魚種の漁法別漁獲量(7月)

定置網	(kg)				
魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
マイワシ	1,197	2,982	2,367	-1,785	-1,170
カタクチイワシ	16,142	6,152	17,092	9,990	-950
アジ類計	53,369	56,517	116,694	-3,148	-63,326
サバ類計	7,775	27,702	29,265	-19,926	-21,490
マグロ類	3,541	11,182	2,133	-7,641	1,408
カツオ類	1,111	6,316	3,175	-5,205	-2,064
ブリ銘柄計	52,600	158,694	238,426	-106,094	-185,825
ブリ	4,138	18,231	6,239	-14,093	-2,101
ワラサ	1,535	48,955	9,126	-47,420	-7,591
ハマチ	29,338	14,447	99,717	14,892	-70,379
ツバス	13,282	73,538	119,711	-60,256	-106,429
アオコ	4,308	3,524	3,633	784	675
ヒラマサ	15,768	15,483	3,516	285	12,252
シイラ	80,431	6,979	7,846	73,452	72,586
サワラ	225,474	181,265	178,717	44,209	46,757
トビウオ	30,027	42,763	59,447	-12,735	-29,419
マダイ	8,211	12,611	10,051	-4,400	-1,840
スズキ	15,123	7,982	8,618	7,142	6,505
カマス	5,091	3,976	5,829	1,115	-738
ケンサキイカ	33,215	11,209	14,590	22,006	18,625
その他	22,744	25,463	25,360	-2,719	-2,616
合計	571,820	577,276	723,124	-5,456	-151,305

底びき網	(kg)				
魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
ハタハタ	295	280	829	15	-534
アカエビ	20,395	24,271	24,259	-3,876	-3,863
その他	482	306	1,253	175	-771
合計	21,172	24,857	26,340	-3,686	-5,169

釣り、延縄、さし網、その他の漁法	(kg)				
魚種名	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
マダイ	920	1,193	1,974	-273	-1,054
キダイ	6,580	6,389	5,953	191	627
アマダイ	4,065	3,545	4,409	520	-344
スズキ	4,502	2,270	4,950	2,232	-448
アナゴ	306	562	906	-256	-600
メバル類	1,950	1,462	2,721	488	-771
スルメイカ	137,920	21,622	24,302	116,298	113,619
ケンサキイカ	2,703	2,001	5,449	702	-2,746
タコ類	28,744	28,799	40,296	-56	-11,552
その他	98,059	106,703	158,978	-8,644	-60,920
合計	285,748	174,546	249,939	111,202	35,810

全漁法	(kg)				
	2019年	2018年	平年	前年差	平年差
合計	878,740	776,680	999,403	102,060	-120,663

※1 平年の値は2009-2018年の10年平均です。 ※2 ()は銘柄、その他カレイはアカガレイ以外のカレイ類、その他エビはアカエビ以外のエビ類です。

※3 数値は小数点以下を四捨五入しています。

〔近隣府県の漁模様〕

(漁獲状況…石川県：7月の定置網1日あたりの漁獲量。京都府：7月にJF京都漁連舞鶴地方卸売市場へ水揚げされた定置網1日あたりの漁獲量。兵庫県：7月の余部定置網1日あたりの漁獲量。鳥取県：7月中旬～8月上旬のまき網1統あたりの漁獲量。)

石川県…定置網…サワラ類 4.3 t、ガンド (60~80cmのブリ) 3.5 t、カタクチイワシ 2.6 t、シイラ 2.6 t

京都府…定置網…サワラ類 10.7 t、混じり (カタクチ・じんだ等) 6.0 t、マアジ 3.0 t、カタクチイワシ 1.7 t

兵庫県…定置網…シロイカ 124 kg、アジ 119 kg、サワラ 95 kg、ツバス 93 kg、スズキ 26 kg、トビウオ 14 kg

鳥取県…まき網…マアジ 5.5 t、ブリ類 2.1 t、ウルメイワシ 1.9 t、カタクチイワシ 1.4 t、マサバ 0.6 t、マイワシ 0.2 t

(漁場環境グループ 長島 拓也)

ヒラメの標識放流を行いました！

標識のついたヒラメを見かけましたら、ご連絡をお願いします！

ヒラメの放流効果や放流後の移動を調査するために、福井市越廼地先（図1）において7月31日に外部標識を装着したヒラメを放流しました。

今年はヒラメ種苗への影響や標識時の作業性を考慮して無眼側の胸鰭抜去を標識とし、約5,200尾の標識魚を放流しました（図2）。ヒラメが漁獲、水揚げされた場合は天然魚か放流魚を確認するために無眼側の黒化を確認していただくとともに、胸鰭の有無についても確認をお願いいたします。

また、平成28年～30年にかけて放流を行いましたアンカータグおよびパンチングの2種類の標識を施したヒラメの追跡も引き続き行っています（図2）。

アンカータグ標識は頭部付近に赤色のプラスチック製タグを装着しており、パンチング標識のものは無眼側の腹側に2つ並んだ斑点をつけています。これらのヒラメにつきましても漁獲、水揚げされた場合は水試までご連絡いただきますようお願いいたします。

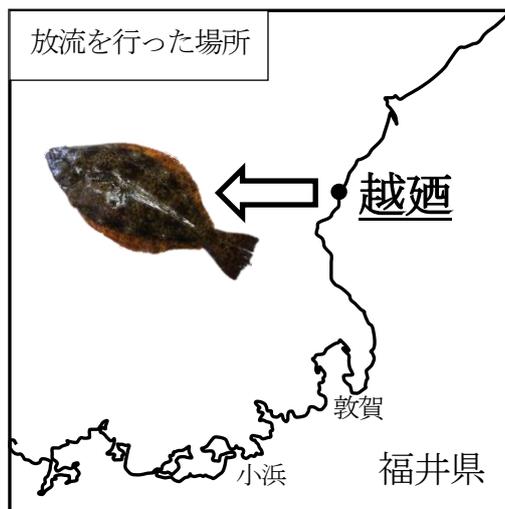


図1 標識ヒラメ放流場所



図2 胸鰭を抜去したヒラメ（左）とアンカータグ（右上）、パンチング（右下）を施したヒラメ

標識のついたヒラメを発見した場合は、

発見日(〇〇年〇月〇日)、漁獲場所(〇〇沖、〇〇km)、魚の大きさ(全長)

以上のご報告をよろしくお願いします。

※標識魚は買い取りをさせていただく場合もありますので、よろしくお願いします。

日本海側の各府県でもヒレの一部をカットしたものやタグを装着したヒラメを放流しています。水産試験場ではこれらのヒラメの情報についても収集していますので、発見した際はご連絡をお願いします。最後に、暑い中標識の装着作業にご協力いただいた嶺北地域栽培漁業推進協議会の皆様に御礼申し上げます。

(漁業管理グループ 元林 裕仁)